

グリーンスローモビリティ導入検証事業について

1. 事業概要

地域での移動手段の確保により、市民の日常生活における活動機会を保障するため、低速の小さな移動手段「グリーンスローモビリティ」の導入を図る。導入にあたり、活発な地域活動、脱炭素に向けた取組み、ニュータウン再生・再編を進めている「萩の台住宅地」をモデル地区として実証運行を実施し、利用が伸び悩む既存コミュニティバスとの比較検証を行い、地域における最適な交通手段を模索する。多様な主体との連携を図りながら、地域主体の持続可能な運行体制を構築し、地域特性に応じた地域内移動の仕組みを構築する。さらには、同様の課題を抱える地域への横展開の可能性についても検証を進める。

グリーンスローモビリティ

- ・ 時速20km未満で公道を走ることができる車両
- ・ 低速の車両のため、道路運送車両法による保安基準が一部(窓ガラス、シートベルト、チャイルドシート装備等)緩和される
- ・ 電気を動力とする、環境に優しいエコなモビリティ
- ・ 車体が小さくきめ細かな移動サービスが可能



イメージ(YAMAHA 製 AR-07)

2. 運行計画(案) ※地域との今後の協議により決定

●概要

実施体制：萩の台住宅地自治会、生駒市等地域の関係者により体制構築
 運行主体：地域（市が地域に車両貸与、運行支援）
 運転者：地域のボランティアドライバー
 運賃：無償（実費程度の費用を徴収するかは今後要協議）
 その他：運行経路、停留所設置場所等は協議により決定

●実施スケジュール

令和6年度

- ・ 共創モデル実証プロジェクト(共創による地域交通形成支援事業)審査準備
- ・ 事業実施体制構築／課題整理／計画作成／車両の調達／停留所設置
- ・ 実証運行（R6.10月～半年間程度を想定）
- ・ 効果検証